

初シード幸福、逆転勝ち

宇北、接戦制し3回戦へ

秋季県高校野球

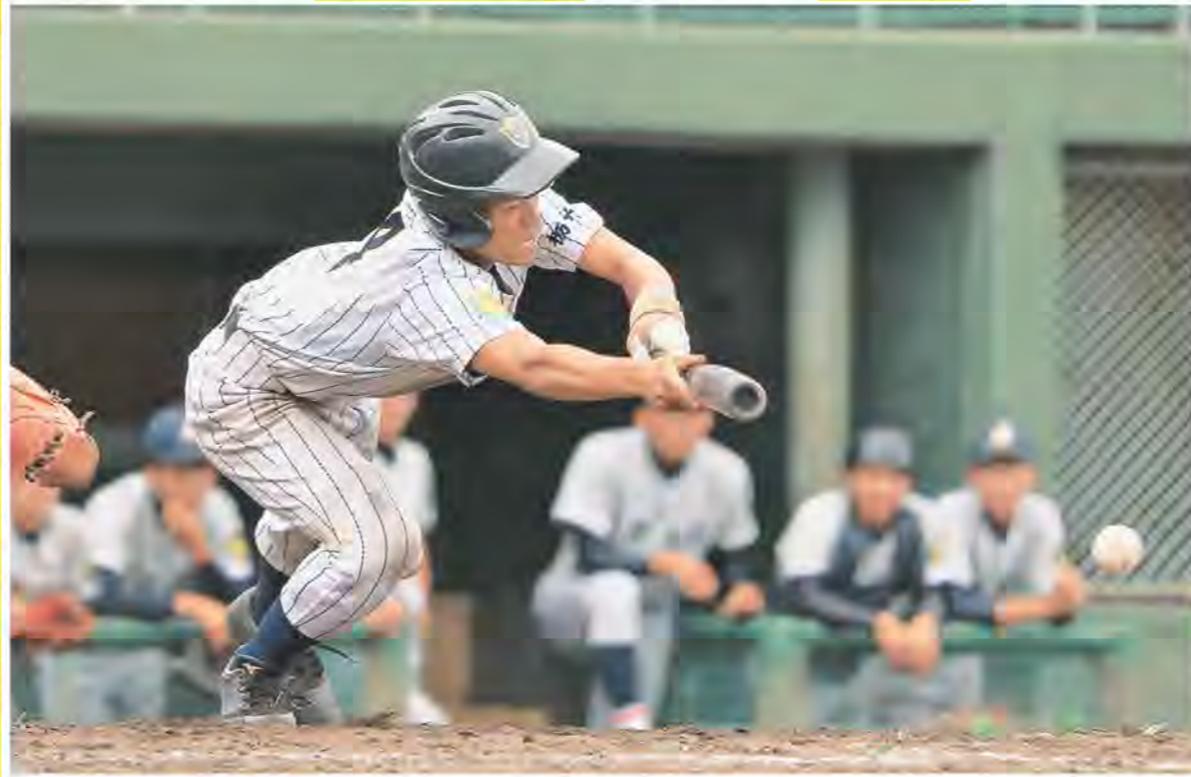
第67回秋季県高校野球大会兼第67回関東地区高校野球大会県予選(県高校野球連盟主催、下野新聞社など後援)第5日は20日、県営球場ほか2回戦8試合を行った。創部以来初のシード校として今大会を迎えた幸福は9-7と足工大付に逆転勝ちし3回戦に駒を進めた。シード宇北は3-2と白楊との接戦を制した。黒羽は烏山を2-0で下し、22年ぶりに秋季大会2勝を挙げた。

宇北	00200000123	橋本 水田	00010000123
幸福	3000001149	三塁打 粟津 鈴木 俣野 自	0104010107
足工大付	0104010107	足工大付	0104010107
幸	0104010107	幸	0104010107

宇南	001020112x7	那須清峰	000000000
宇北	001020112x7	宇北	001020112x7

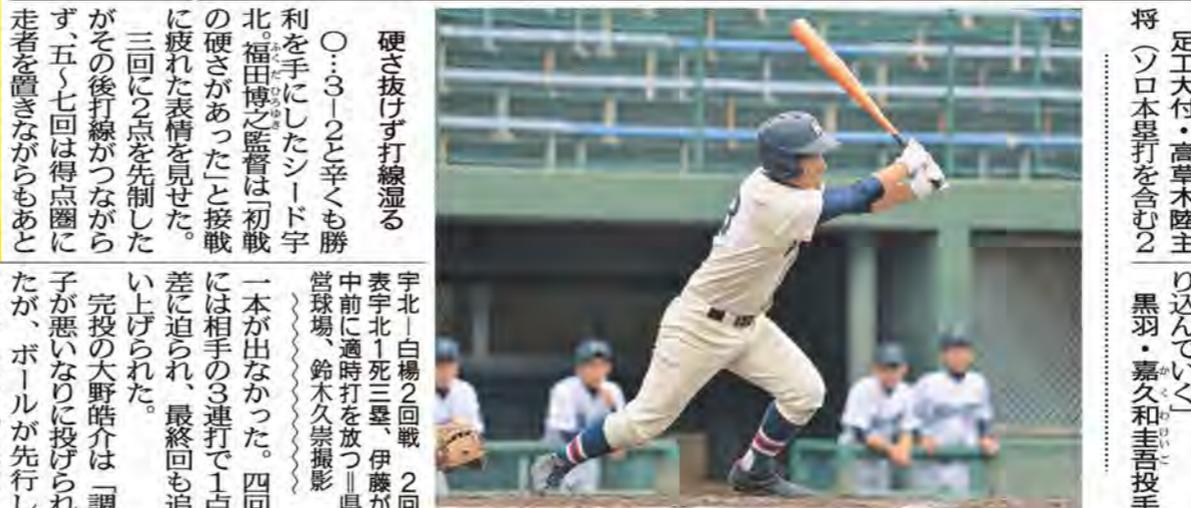
宇北	000000000	宇北	000000000
宇北	000000000	宇北	000000000

宇北	000000000	宇北	000000000
宇北	000000000	宇北	000000000



幸福は初回2死満塁で早川賢汰が走者一掃の適時三塁打を打ち先制。四回に4失策と守備の乱れから逆転を許したが、2点を追う九回にウランスクイスなどで再逆転に成功した。

宇北は三回に伊藤一寿の適時打などで2点を先制。四回に1点差に詰め寄せられたが、九回に1点を加え、先発の大野皓介が2失点完投で踏ん張った。



宇北は白楊2回戦、2回表宇北1死三塁、伊藤が中前に適時打を放つ。県営球場、鈴木久崇撮影

幸福は初回2死満塁、古田が2ランスクイスを決める。県営球場、鈴木久崇撮影

このほか、シード宇南、新がコールド勝ちで3回戦進出を決めた。

大会第6日は21日、同球場ほかで2回戦8試合を行う。

▽回戦(県営)

2点スクイス決まる

○：2点を追う最終回に4得点し逆転勝利を収めた幸福。榎下田宏一監督の采配と選手たちの好

硬さ抜けず打線湿る

○：3-2と辛くも勝利を手にしたシード宇北。福田博之監督は「初戦の硬さがあった」と接戦に疲れた表情を見せた。

大山(栃木)大会新V 女子100障害

女子テニス 鳴田・瀬古組初の頂点

男子は田村迅・上原悠希組(足工大付)が安定した戦いで頂点に立った。

▽陸上

判断が勝利を呼び込んだ。1点を返し1点差に迫った九回1死満塁。榎下田監督は初球にスクイスのサインを出したが「読まれていた」と思ったと

者がアウトにする間に二走・牧野大河が本塁を陥れて、ツーランスクイスを成功させた。古田は「逆転まであるチャンスだったので、緊張よりも楽しさ

県高校新人スポーツは20日、県総合運動公園で陸上とテニスをを行った。陸上は女子100m障害で大山茜里(国学院)が14秒40の大会記録で優勝。男子400mリレーも作新が大会記録で優勝した。

テニスでは男女のダブルスを、女子の嶋田愛・瀬古真理愛組が幸福ペアとして初の県大会制覇

テニス男子ダブルス優勝の田村(左)・上原組

テニス女子ダブルス優勝の瀬古(左)・嶋田組

安打2打点 「一本塁打は」少し振り遅れたが、芯に当たったので飛んでくれた。チームとしては点は取れたので攻撃は文句ないが、守備で取れるアウトを取れず、力がなかった。

白楊・梅沢拓希主将(シード)宇北に惜敗「大事なところで守備にミスが出た。攻撃でも相手投手をなかなか捉えられなかった。ここ一番で一本が打てるよう冬場に振り込んでいく」

黒羽・嘉久和吉投手

「下野新聞2014年9月21日より」